

令和3年第6回定例公安委員会会議録

開催日時 令和3年3月4日（木）午前11時10分～午後2時35分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時20分

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部 川島警務部長 柴田首席監察官 河本生活安全部長
長谷高刑事部長 保田交通部長 谷村警備部長
本庄警察学校長 濱口情報通信部長 永島浜村警察署長

（事務局等～松本公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

公安委員会宛ての苦情に対する回答（警務部）

警察本部から、公安委員会宛ての苦情に対する回答案について説明がなされた。

委員

調査状況等について事前に説明を受けており、このとおり決裁する。
引き続き、適正な職務執行を行っていただきたい。

4 報告事項

- 鳥取県警察採用戦略2021（警務部）
- 警察庁による監察の受監結果（警務部）
- 浜村警察署の取組（浜村警察署）

(1) 鳥取県警察採用戦略2021(警務部)

警察本部

県警察では、平成29年より、県警察の将来を担う優秀な人材を確保するための採用活動を最重要課題の一つと位置付け、毎年、鳥取県警察採用戦略を策定している。

本県の警察官採用試験の受験者数は、平成23年度から連続して減少していたが、平成30年度を底に回復傾向にある。これは、令和元年度より、東京、大阪での受験を可能としたこと、SPIⅢ試験を導入したこと、受験可能年齢を35歳に引き上げたことなどが要因だと考えている。警察行政職員の受験者数も平成23年度以降減少傾向にあったが、昨年度は急激な増加に転じた。これは、大学卒業程度の試験区分にあった専門試験を廃止したことや、就職氷河期世代チャレンジ枠を設けたことが要因だと考えている。

本年の採用戦略は、厳しい採用情勢が続くなか、受験者数の向上と優秀な人材確保が県民の安全、安心につながるという認識のもと、組織一丸となった採用活動を展開するため、昨年の内容を一部改定して策定した。

県警察の魅力の発信として、一人一人を大切にす鳥取県警察を理念に掲げ、働き方改革や女性職員の活躍推進に取り組んでいること、全国警察の中で、男性職員の育児休業取得率が1位であること、在外公館や中央省庁への出向など多様な働き方があることなど、具体的な生の情報を積極的に発信する。

採用戦略プログラムでは、採用広報活動、採用募集活動及び辞退防止活動の三位一体で取り組む。採用広報活動では、昨年よりLINE公式アカウント「鳥取県警察採用係」などをスタートさせたが、本年もあらゆる媒体を活用して広報を行う。採用募集活動では、リクルーターによる活動やオンライン説明会、オープンキャンパス等、幅広い募集活動を行う。辞退防止活動では、内定者及び家族への訪問活動や内定者説明会等を行い、丁寧な説明による不安感の払拭や警察職員として働く意欲の維持に努めたい。

今月より採用試験の受付が順次開始となるが、本戦略に基づき、強力に採用活動を進めていく。

委員

コロナ禍による試験日程の変更が一因だと思うが、本年度の受験者数は応募者数よりも約100人も少ない。ただ、応募者数は昨年度よりも増加しているので、徐々に取組の成果が出ていると思う。チャレンジコースの倍率は何倍か。

警察本部

昨年は、大学卒業程度が1.8倍、高校卒業程度が16.3倍であった。

委員

警察は、県民の安全、安心を守る組織であるため、優秀な人材を確保すること

は重要だと思う。

委員

この計画のとおり、しっかりと実践し、県警察の魅力や仕事のやりがいを伝えていただきたい。

(2) 警察庁による監察の受監結果（警務部）

警察本部から、警察庁による監察の受監結果について報告がなされた。

委員

日頃から県警察の監察業務もしっかりされているが、引き続き、適切に行っていただきたい。

(3) 浜村警察署の取組（浜村警察署）

浜村警察署

当署の主な取組を3点報告する。取組のキーワードは「声」である。

1点目は、交通死亡事故ゼロに向けた取組として、地元住民に密着した交通事故防止広報を実施している。当署管内では、令和元年6月以降、交通事故が発生していない。引き続き抑止するべく、管内の交通事故発生状況を分析したところ、スーパーなどの商業施設立地区域において、日中の時間帯での発生が多い傾向にあった。この分析結果を基に、地域ごとに合わせた内容で広報資料を作成したところ、それを見た当署警察署協議会の委員より、「この地域の事故の多い曜日は、スーパーのポイントデーであり、車も多い。」との意見をいただいた。当署としても今後の施策の参考となるものであり、住民の声を聞く重要性を再認識した。

2点目は、住民の期待に応える地域警察のための取組として、駐在所員の対応能力強化のため、ブラインド方式で襲撃対応訓練を実施した。全国的に駐在所員が襲われる事件が発生していることから、訓練を通して意識付けをするとともに、駐在所員の意見を聞き、事務室のレイアウト等を改善した。このほか、駐在所員は、登下校時の見守り活動を行っているが、管内の中学校の校長より、日々の駐在所員の声掛けについて感謝の言葉をいただいた。住民の方々の声が署員の励みになっている。

最後に、当署ではワークライフバランスへの取組の一環として、男性職員の育児休暇取得を推進している。育児休暇に限らず、平素からお互いにカバーし合いながら各種事案対応に当たっているが、育児休暇を希望する男性職員が負担感なく取得できる環境づくりに配慮しており、数名の職員が2週間以上の休暇を取得

し、本人や家族からも好意的な意見が多くあった。

委員

交通死亡事故ゼロが続いているのは、日々の取組の結果でもあると思う。引き続き対策を行っていただきたい。駐在所員の訓練については、いつ何が発生するか分からないので、日頃の訓練がとても大切であり、良い訓練を実施されている。

浜村警察署の管内は、校区が広く、遠方から通学する子どももいると思う。一人で登下校することもあると思うので、引き続き、見守り活動をよろしく願います。

委員

交通事故の分析結果を広報されているが、抑止に効果的だと思う。また、見守り活動は、住民の安心につながるとともに、見せる活動を行うことで交通事故防止にも効果があると思う。

委員

先日、浜村警察署において行われた、特殊詐欺の水際阻止をされた方への表彰のニュースを見たが、このような報道も特殊詐欺被害防止の広報につながると感じた。ワークライフバランスも推進されており、職員が仕事も家庭も大切にできるよう、引き続き、組織としてバックアップしていただきたい。

5 その他

委員

本年に入り、交通死亡事故多発警報が発令されるなど、重大な交通事故が続いている。また、特殊詐欺の高額被害も発生している。引き続き、各種対策をしつかりと行っていただきたい。

委員

人事異動期となるが、対応が手薄にならないよう、業務に当たっていただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・ 運転免許更新に係る審査請求の裁決
- ・ 鳥取県警察採用戦略2021

4 報告事項

- ・ 取調べ監督関係
- ・ 訟務案件
- ・ 監察報告

5 決裁

公安委員会宛ての苦情に対する回答

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。